

産学協働プログラム 「人生 100 年時代の都市・インフラ学」 中間講評会

2021 年 5 月 25 日（月） @東工大 デジタルホール／ Zoom 同時開催

【コメントシート チーム 4】

野原先生

モビリティを考える上で、移動そのものの豊かさ、価値を考えるのはとてもおもしろいと思いました。
とくに外に出るということが人間本来の欲求だというご指摘は重いと思います。

真野先生

- ・スライドがシンプルでよくまとめられていると思います。
- ・今後の議論に向けて「人生 100 年時代の山手線を考える」というテーマは思い切った絞り込み方だと思います。環状鉄道の歴史も 100 年くらいですね。郊外放射状に延びる私鉄沿線のターミナルをつなぐ動脈という役割は今後も続くのでしょうか？ニューヨークのハイラインのように廃線跡をオープンスペース化するか、大胆な転換が起きるなど、少し飛躍した展開を考えてみるのもあり得ると思います。

浅輪先生

ご発表をいただきありがとうございました。山手線を考えるというのは面白いですね。山手線は、通勤・通学や買い物などの日所の便利な移動手段というイメージですが、そこに楽しみなどのプラスアルファを載せられるイメージが示されると面白いかと思いました。当日もコメントをさせていただきましたが、高齢者（最近の話題では、ワクチン大規模接種会場までに行くのが大変で、予約が埋まらないというニュースもありましたが）も、同じように移動する楽しみが増えると良いですね。

室町先生

モビリティはチーム 1~3 とも関連が深く、他のチームの影響を受けやすいと感じました。「どこでもドア」（技術の進展）があったとして、その上での移動を考えるというセッティングは興味深いと思いました。

鼎先生

大変興味深いご発表ありがとうございました。
誰でも行きたい場所に、いつでも、ストレスなくの実現 = 大変な混雑が生じる and/or 大量のエネルギーや物質を使う、といったことをイメージしてしまう部分もございます。そうしますと、その場合は値段やコストが上がるということになるのでしょうか？

十代田先生

- ・移動の豊かさは昔の方があったのではないか。
- ・モビリティの進歩に引きずられなかったのがよいと思う。